

出典:分散型発電新聞 2006年10月5日(木曜日)

11月15日からHOSPEX

病院のESCOなど紹介

日本医療福祉設備協会と日本能率協会の共催による「HOSPEX JAPAN2006」が11月15～17日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれる。医療・福祉設備機器関連としてはわが国最大の規模を誇る総合展示会で、15、16日開催の日本医療福祉設備学会に併設して行われる。

今年のHOSPEXでは昨年同様、展示会場を建築・設備や医療・福祉関連情報システムなどの5ゾーンに分ける。この内、建築・設備ゾーンで

は東京ガスや東京電力などのエネルギー企業が病院におけるESCO事業の導入事例などをパネルやビデオを使い多角的に紹介するほか、三浦プロテックなどの機器メーカーが病院のエネルギーコストの削減に向けた最新の設備機器・システムを展示する。

また、今回は特別展示企画として世界初のMRIやCTスキャンなどを一体化した手術システムを会場内に再現するほか、ジョンソン・エンド・ジョンソンなどの医療メーカーが自社の新製

品や新技術を紹介するソリューションプレゼンセミナーも行われるなど、見所の多い展示が予定されている。

一方、日本医療福祉設備学会では「やさしさを中心とした医療・福祉への帰帰」をメインテーマに2日間、院内感染や病院経営など医療や介護、

病院設備に関する講演会やシンポジウムを33講演予定している。初日の15日には井熊均・日本総合研究所創発戦略センター所長が司会を務め、清水建設や国土交通省などからパネリストを迎え「各分野の一般競争入札制度に代わる事業者選定の在

り方」と題したシンポジウムが行われる。入場料はHOSPEXが千円、学会は9千円。問い合わせはHOSPEXが日本能率協会(☎03-3434-1988)、学会が日本医療福祉設備協会(☎03-3812-0257)。